

京都大学グローバル COE プログラム「アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点」
アジア歴史都市における居住環境と都市景観の保全再生のための
都市ガバナンス領域 研究会



日 時： 2008 年 12 月 2 日(火) 15:00～17:00

会 場： 京都大学桂キャンパス C クラスタ C2棟 102 講義室

使用言語： 英語（適宜日本語通訳有の予定）

プログラム：

・基調報告

「ジャワ地震からの復興の現状と歴史都市遺産 ～インドネシア・ジョグジャカルタ～」

ティティ・ハンダヤニ(Jogja Heritage Society, 京都府国際課招へい研修生)

ダラム・グプタ(Jogja Heritage Society, 京都府国際課招へい研修生)

・ディスカッション

コメンテーター 門内輝行(京都大学工学研究科建築学専攻教授・GCOE 領域リダー)

コーディネーター 神吉紀世子(同都市環境工学専攻准教授・GCOE 研究分担者)



ジャワ地震被災地(KotaGede 地区)の家屋等再建の状況(2008 年3月末)

Jogja Heritage Society (JHS) は、古都ジョグジャカルタ市とその周辺地域の文化遺産や歴史的町並みの保全まちづくりに尽力してきた民間非営利組織で、ガジャマダ大学(Universitas GadjahMada=UGM)等の諸大学の教員や卒業生・在校生が多く参画し活動しています。ジャワ地震以前から、ジョグジャカルタ市中心部の王宮とその周辺地区や、市東南に位置する歴史的市街地 KotaGede 地区などのまちづくりに貢献してきました。ジャワ地震の直後には、UGM や他の諸団体とともに、いち早く被災地域の支援活動に従事し、現在まで様々な復興活動をマネジメントされています。とりわけ、バティック(ジャワ更紗)や銀細工、木工細工などの、古都の伝統産業を支える職人層でもある被災地住民の生活再建支援のため、コミュニティ・ベースでの産業復興および振興を促し支援する活動を継続しておられています。

このたび、JHS のティティ氏、ダラム氏は、京都府—ジョグジャカルタ特別州の友好自治体関係のもとに行われている復興支援研修のプログラムに参加するために来日されます。この機会にジャワ地震からのジョグジャカルタの歴史都市遺産の復興状況について伺い、今後の研究交流のためのディスカッションを行います。(文責：神吉)